ご自由に
お取り
ください
TAKE FREE

鹿児島徳洲会病院広報誌

かとーく

KA TALK

2024 vol.3

特集／内視鏡室紹介

○部署紹介：臨床検査部
○KATOKU INFORMATION

医療法人 徳洲会
鹿児島徳洲会病院
Medical Corporation Kagoshima Tokushukai Hospital

内視鏡室

部長　**深町 俊之**

○日本外科学会 外科専門医

●趣味…DIY、ゲーム、バイク

内視鏡室では、胃や大腸のがんをはじめとする消化器系の疾患を早期に発見し、治療するための検査を実施しています。検査内容としては、胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）、大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査）があります。

大腸カメラでは、検査中に見つかったポリープをその場で切除することが可能な場合もあります（人間ドックを除く）。ただし、ポリープの大きさによっては、後日改めて切除を行うことがあります。

ポリープの切除は内視鏡で行うため、通常、入院は必要ありません。治療後の1週間程度は、食事制限（刺激物を避ける、お酒を控えるなど）や、出張や旅行、運動制限をお願いしております。

安心ケア体制

当院では、内視鏡検査に対する専門的な知識と技能を持つ消化器内視鏡技師が在籍しており、患者さまに安心して検査を受けていただける環境を整えています。

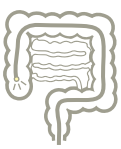
ご希望に応じて、鎮静剤や鎮痛剤を適切に使用することで、「ウトウト」眠った状態で、より快適に検査を受けることが可能です。

不安や疑問については、事前にしっかりとご説明いたします。患者さまの健康と安心を最優先に考え、質の高い医療サービスを提供してまいります。

機器について

当院では、患者様により快適な検査体験を提供するため、経鼻カメラと経口カメラの両方をご用意しています。これにより、患者様の希望や身体の状況に合わせて、適切な検査方法を選択することが可能です。

胃カメラと大腸カメラの違いを知ろう

	胃カメラ	大腸カメラ
どんなときに検査するのか？	消化器症状のある場合（長期間続く胃痛、胸やけ、嘔吐、食欲不振など）、検査異常、ピロリ菌感染の疑いなど	消化器症状のある場合（長期間続く腹痛、便秘、下痢、便の形状や色の変化、血便など）、検査異常など
対象疾患	食道がん / 胃がん / 胃炎 / 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 / 食道炎 など	大腸がん / 炎症性腸疾患 大腸ポリープ など
どこから？	口から （より鮮明な画像が撮影可能） 鼻から （細いカメラで嘔吐反射が少ない）	お尻から
見える場所	のど・食道・胃・十二指腸	大腸
事前準備	前日21時から絶食	前日21時から絶食 ＋ 下剤を飲んで腸内を空にする必要あり
【当日】検査の流れ	①消泡剤を飲む ↓ ②麻酔をかける ↓ ③検査 	①経口腸管洗腸剤を飲む ↓ ②検査 
検査時間	5分（目安）	10-15分（目安）

胃癌と大腸癌で死ぬのは勿体無い？

日本人の胃癌の罹患数は年間13万人、大腸癌は約16万人。
死亡数は胃癌42,000人、大腸癌55,000で癌による死亡原因の2位と3位を占めています。

がん罹患数の順位（2020年）

1 大腸がん
2 肺がん
3 胃がん
4 乳房がん
5 前立腺がん

出典：厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告2020」

がん死亡数の順位（2022年）

1 肺がん
2 大腸がん
3 胃がん
4 膵臓がん
5 肝臓がん

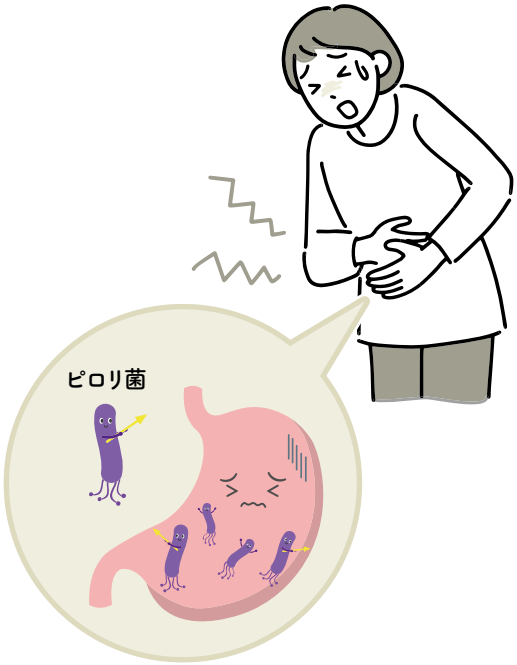
出典：厚生労働省「2022年人口動態統計（確定数）」

胃癌はピロリ菌感染者の減少に伴い罹患率、死亡数ともに減少傾向ですが、大腸癌は死亡数が増え続けており注意が必要です。

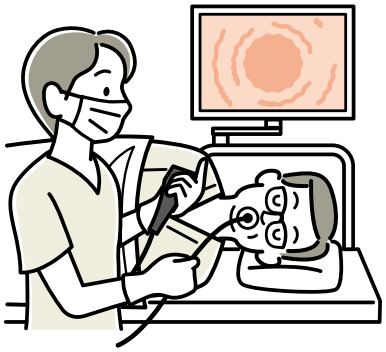
胃癌、大腸癌は早期発見により治癒が期待できる癌です。
胃癌や大腸癌は症状が出る頃にはほぼ進行癌であることから、検診による2次予防が大切になります。

胃癌の原因の99％はピロリ菌感染が原因であり、早期にピロリ感染の有無の診断を行い除菌により癌のリスクを下げる一次予防が可能な癌です。
ピロリ菌は胃の中に棲みつく事ができる数少ない病原菌で、持続感染により慢性胃炎を引き起こし、胃癌を発生させます。

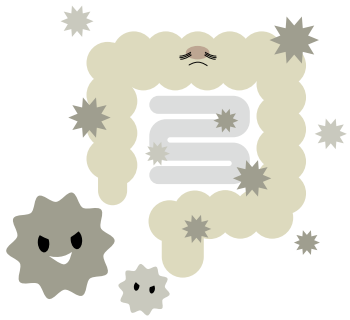
ピロリ菌は上下水道網が発達する前は井戸水等による水系感染を疑われていましたが、現在の日本ではほとんどが家族内感染であり、その7割は幼少時期に母親から感染することがわかってきています。成人になってからピロリ菌による慢性感染となることは非常に稀であり、基本的に夫婦間で感染することもありません。



1 適切な時期に適切な検査を



胃癌の対策型検診は罹患率が増えてくる50歳以上を対象にしていますが、胃癌は除菌による一次予防が可能な癌であり、ピロリ菌検査（できれば内視鏡検査も）を若いうちに一度は受けておくことが重要と考えます。ピロリ菌感染が無いと診断されれば今後胃癌になるリスクはかなり低いため、症状がない限り定期的な内視鏡検査も不要でしょう。ピロリ菌感染が判明した場合は速やかに除菌をしましょう。除菌をした場合でも、発癌のリスクは非感染者よりも高いため2～3年に1度は定期的内視鏡検査を勧めます。



大腸癌罹患率は40歳から徐々に増えていきます。胃癌のように明確な原因はありませんが、食生活やアルコール等生活習慣病としての側面があると考えられています。

対策型検診では40歳以上の毎年の便潜血検査を勧めていますが、便潜血ではある程度進行した癌にしか反応しないため40歳を超えたら最低5年に1度は内視鏡検査を受けることを勧めます。

2 当院で内視鏡を受けるには？

当院に現在かかっている場合

まずは、主治医の先生にご相談ください。

他院に現在かかっていて、当院で診察を希望される場合

かかりつけの先生にご相談いただき、紹介状をご持参の上お越しください。

〇受付時間／月～金曜日（祝日除く）7:30-11:30　〇診療時間／9:00-12:00

※診察の結果や症状に応じて、後日検査を行う場合があります。

症状がなく、検査のみ希望される場合（健診センター）

電話・来院にてご予約いただけます。　※完全予約制

〇予約受付時間／月曜日～金曜日（祝日除く）　10:00～16:00

TEL: 099-814-7236（直通）

部署紹介

臨床検査部

業務内容

検体検査(採血含む)、生理検査を行っています。
患者様の身体的状況を検査データとして作成し、診断や治療に役立てます。

検体検査内容(採血含む)

○検体(血液・尿・便など)を分析機、顕微鏡、検査キット等で調べます。

○生化学検査、血液検査、一般検査、組織診、細胞診、細菌検査、遺伝子検査等様々な分野があります。

生理検査内容

○身体から得られた波形や画像を解析し、生体機能を調べます。

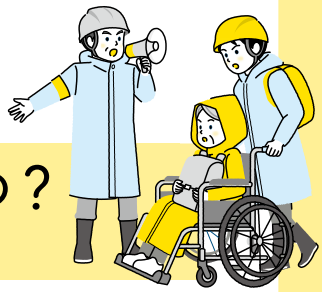
○心電図、エコー、聴力、肺機能、脳波、睡眠時無呼吸症候群検査、動脈硬化検査等様々な分野があります。

当検査室の特色

○離島、僻地病院への支援―鹿児島病院は離島の基幹病院です。鹿児島の離島のみならず、徳洲会グループ全国の病院への応援、交換研修を活発に行っています。

○チーム医療の実践―救急搬入時から検査技師も対応しています。また心臓カテーテル検査・治療、ICT(院内感染対策チーム)、NST(栄養サポートチーム)、循環器カンファレンスに積極的に参加して活動しています。

○オールマイティ技師の育成―検体検査、生理検査と細分化されている検査室が多いですが、どちらもできる技師の育成に力を入れています。



病院の防災対策ってどうなっているの？
～もし、病院にいる時に大地震が起きたら～

災害はいつどこで発生するかわかりません。外来受診などで当院にご来院中に大地震が発生することも十分に考えられます。患者さんや職員を守るために鹿児島徳洲会病院がどのような防災対策をしているのか、いくつかご紹介します。

1 建物

当院の立地は埋立地であったため液状化対策として地盤改良をして建築しており、建物も耐震構造です。

2 電気

停電時に生命維持装置や手術室・HCU、ライフライン関連設備などへ電力を供給できるよう非常用自家発電機を備えています（通常時の6割以上）。また、燃料は15,000L以上備蓄しており5～7日間程度供給する事ができます。

3 水道

地震により水道管が破裂し水道局からの上水が供給されない事例は、今年元日に発生した能登半島地震でも多く見られ記憶に新しいかと思います。当院で使用している水は主に井水で、受水槽（容量：136㎥）に貯留した後に全館へ供給しています。当院の井水は、汲み上げ後に不純物の除去や殺菌処理、硬度調整などを行っています。

また、昨今健康に影響を及ぼす恐れがあるとして社会問題になっている有機フッ素化合物（ＰＦＡＳ）が当院の水に含有していないか水質検査を実施した結果、検出されませんでした。

4 設備

燃料送油ポンプ（オイルポンプ）や井水設備、給水ポンプ、圧縮空気・吸引装置、LPガス蒸発器、排水処理装置など、病院には様々な重要設備がありますが、その全ての設備に非常用電源が接続されています。

5 食糧・飲料水

入院患者や通所リハビリ利用者、職員などの食糧・飲料水を災害用備蓄倉庫に3日分以上備蓄しています。また、院内に設置している飲料自動販売機8台のうち7台が災害対応型で、災害発生時にフリードリンクの設定に変更することができます。

防災センター　和田 茂人

KATOKU INFORMATION

新入職医師紹介

形成外科 医長　**束野 哲志**

8月より入職しました束野（つかの）です。医師免許取得後ほとんどの期間を熊本で勤務していました。主に外傷を中心に診療していましたが、形成外科全般に対応致します。体表面の事で悩み事がありましたらお気軽にご相談ください。

○日本形成外科学会 専門医・指導医
○日本創傷外科学会 専門医
○日本熱傷学会 専門医
○臨床研修指導医
○ボトックス®（眼瞼痙攣・片側顔面痙攣、原発性腋窩多汗症）実施医
○3TOライセンス取得（巻き爪）

●趣味…釣り、ランニング

徳洲会TVについて

当院院長の保坂と申します。
このVTRは当院の使命のひとつである「離島・へき地医療」への取り組みを紹介するべく作成しました。多くの離島において医師が足りておらず、診療科も限られているのが現状です。「いつでもどこでも誰でもが最善の医療を受けられる社会の実現」を目指す徳洲会グループの一員として、そして離島を数多く有する鹿児島県の基幹病院として、当院は引き続き島民が安心して生活できるよう支援していきたいと考えています。皆様のご理解とご支援を賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。

徳洲会TV
https://www.youtube.com/@tokushukaiTV

KATOKU Instagram

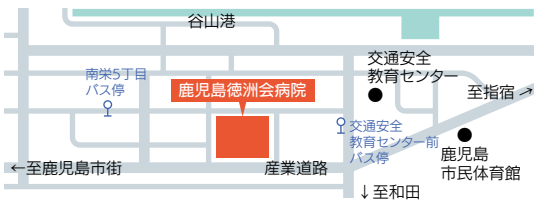
ほかにもたくさん投稿しています！
こちらからチェック！
kagoshima.tokushukai

KAGOSHIMA.TOKUSHUKAI

看護職員の新人教育フォローアップ研修で、マシュマロ・チャレンジを行いました。これは、限られた資源（パスタ、テープ、ひも、マシュマロ）を使って、自立可能な高いタワーを作るゲームです。
今回の目的は、時間内でどうやって目標を達成するか、そして組織の中で働くために必要な「役割分担」や「コミュニケーション」の重要性を体験することでした。
最高記録は70cm！！素晴らしい☆

2回のチャレンジを通じて、気づいたこと
○役割分担の重要性
○意見を出し合うことの大切さ
○協力する姿勢と助け合いの意識
○他人の意見を尊重すること
○失敗から学び、次に活かすこと

今回学んだことを現場でも活かしてくれることを期待しています！！

医療法人 徳洲会
鹿児島徳洲会病院
Medical Corporation Kagoshima Tokushukai Hospital
〒891-0122 鹿児島市南栄5丁目10番地51
TEL: 099-268-1110　FAX: 099-267-1122
https://www.kagotoku.jp

公式サイト　LINE